

団体名 南風原町立 南風原小学校	連絡先 TEL : 098-889-2088 Eメール : se-haesyou4@pub.town.haebaru.okinawa.jp
--------------------------------	--

1 実践事項 (②)

タイトル: 『「レインボータスク」による児童の学習と生活の基盤づくり』

2 実践内容

【「レインボータスク」を中心に据えた児童の学習と生活の基盤づくり】

(1) 「レインボータスク(7つの取組項目)」の実施: 毎月末に学級ごとに評価

「レインボータスク」(①あいさつ ②さん付け ③ふわふわ言葉 ④スリッパ・靴並べ ⑤廊下・階段歩行 ⑥黙想・立腰 ⑦学習の準備)について、児童個々が1か月間の自身の様子を「できた」「できていない」の2択で自己評価。

(2) 「レインボータスク」の達成状況の「見える化」①: 学級の実態と経過を表で「見える化」

7つの項目のそれぞれについて、学級の児童数の8割以上達成で「青」、6割以上8割未満の達成で「黄」、6割未満の達成で「赤」を表に塗り、その表を教室の入り口付近に掲示することにより、児童への意識づけを図っている。

(3) 「レインボータスク」の達成状況の「見える化」②: 本校全体の実態と経過をグラフで「見える化」

通常学級および特別支援学級の全学級の集計結果を基に、7つの項目のそれぞれについて、「達成(青)の学級数/全学級数」の割合をグラフに表し、そのグラフを児童・保護者や来校者の目につきやすい校舎内の5か所に掲示することにより、児童への意識づけを図っている。また、保護者や来校者へ本校の「レインボータスク」に関する実態や経過を知らせる資料としている。

【「組織的な関わり」による達成率の向上や定着を促す工夫】

(1) 「毎月末の評価未実施を予防する工夫」

- 学推主任から終礼や職員用ラインで「レインボータスク」の評価を実施する呼びかけ。
- 各学年等の学推担当教員が、各学年等の職員に評価の実施を呼びかけ、集計結果を整理。

(2) 「全職員での実態把握(情報の共有化)」

各学年等の集計結果を学推主任が整理して、本校全体の実態や経過を表に一覧化し、達成率向上や定着を促す指導の共通実践事項を含めて通信にまとめ、全職員に配布。また、本校全体のポジティブな経過と改善の重点ポイントを学推主任が給食時間に校内放送で伝え、全児童と学級担任が情報を共有し、以後の学級指導、学年や専科の授業等での指導にもつなげている。

(3) 「レインボータスク」の項目に関連する取組

- ①あいさつ: 生活安全委員会と共に、全学級が輪番で朝の挨拶運動を実施。
- ②さん付け: 達成率が向上しない現状を踏まえ、「授業時間に限った評価」で改善を目指す。
- ③ふわふわ言葉: 各学年の掲示板に「ふわふわ言葉の木」を掲示し、児童が好きな「ふわふわ言葉」を書いて「ふわふわ言葉の木」に花卉として貼りつけ、年間掲示。
- ④スリッパ・靴並べ: 毎週1回、生活安全委員会が各学年のトイレのスリッパ並べを点検し、きれいにスリッパを並べられていた学年のトイレを男女別に紹介。
- ⑤廊下・階段歩行: 「は・さ・み」(走らず・騒がず・右側通行)を合言葉に、チャンス指導。
- ⑥黙想・立腰: 全ての学級と専科教室に黙想と立腰に関する掲示物を年間掲示し、継続指導。
- ⑦学習の準備: 授業終了時に授業者や日直が、必要に応じて、休み時間にも授業者が声かけ。

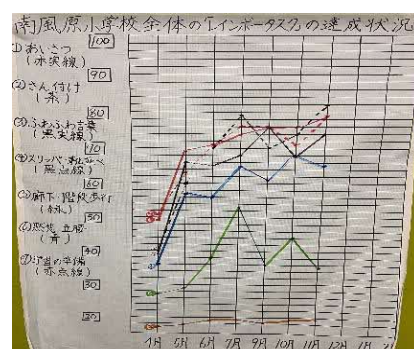
3 説明資料



啓発ポスター

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. あいさつ	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
2. さん付け	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
3. ふわふわ言葉	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
4. スリッパ・新靴へ	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
5. 廊下・階段歩行	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
6. 黙想・立腰	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成
7. 学習の準備	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成	達成

学級掲示用紙



全校グラフ



ふわふわ言葉の木



「は・さ・み」のポスター



黙想と立腰のポスター

4 成果

- (1) 学推主任の呼びかけだけで「レインボータスク」を実施するのではなく、各学年等の学推担当教員と連携を図ることにより、各学級の評価や集計がスムーズになり、翌月の初めには全校の実態や経過をグラフ化したり全職員に通信で知らせたりできるようになった。そのおかげで、「指導と評価の一体化」が図られて、課題改善に向けた児童への指導に素早く還元できるようになった。その結果、児童が立ち止まって表やグラフを眺める様子も数多く見られるようになり、「レインボータスク」に関する児童への意識づけが徐々に浸透し、各項目の達成率向上につながっている。
- (2) 昨年度から取り組み始めた「レインボータスク」を新しい取組とは捉えず、それまでに本校で実施してきた挨拶運動や生活安全委員会の活動、学推関連の取組と並行することにより、教職員にも児童にも負担が少ないままで、本校児童の学習と生活の基盤づくりを進められるようになった。
- (3) 各学級の表や全校のグラフを年間掲示にしていることにより、「レインボータスク」は本校児童の学習と生活の基盤づくりの進捗状況を保護者や来校者に知らせる資料としても機能している。

5 課題

学級によって「レインボータスク」に関する各項目の達成率が低い場合があり、「さん付け」と「廊下・階段歩行」については本校全体としても達成率が低いという課題がある。それらの課題の改善に向けて、指導がうまくいった事例を学年や全校で共有したり、学年等で一斉指導する機会を通じて改善を図ったりすることにより、本校児童の学習と生活の基盤づくりを推進していきたい。